

桑満伯順 (1767~1856)

桑満伯順は、代々七城で医業を営んでいた家に生まれました。淡江・松石やその父紫陽など優れた学者たちに学問を学び、特に淡江松石の一番弟子としてその誠実な人柄をたたえられました。父の跡を継いで医者となつてからはその医術についても非常に評判が高く、50歳を過ぎたころ藩医に任じられ、藩の医学学校「再春館」で教鞭を執ることになります。その後数年間「再春館」に勤めましたが、病気を理由に辞職し、郷里に帰ることになりました。

帰郷後、伯順は隈府正観寺に私塾「水石亭」を開き、医学・漢学・書道を教えました。伯順は多くの人材を育てましたが、その中には木下・韓村の名前もあります。後に君主の講義役にまで上りつめることになる韓村でしたが、少年の頃は先輩に反抗したり、生意気な口を利いたりする一面がありました。あるとき伯順が、韓村に儒学者としての心得を説いて厳しく教え戒めたところ、韓村も自分の短所を悟り、何事にも謙虚な態度を心掛けるようになりました。その後韓村は藩校「時習館」に勤めることになるのですが、「時習館」の学統(学問の流派)は伯順のそれとは異なるため、大いに心を痛めたといわれています。しかし伯順は学統にこだわらない寛量さを見せず、逆に韓村を激励し、愛弟子の栄達を喜んだのでした。

1856(安政3)年、90歳になった伯順は、30年以上郷里の人々を教え導いてきた「水石亭」の門を閉じました。その生涯を終える1年前まで、教壇に立ち続けたのです。91歳で亡くなった伯順の墓碑文は木下・韓村が作り、筆は同じく門下生であった城野・静軒が執りました。



桑満伯順の墓碑

ハンセン病を正しく理解する輪を広げましょう

あなたは、ハンセン病についてどんなことを知っていますか。

( )に○×を付けてみましょう。

( )ハンセン病は「らい菌」による感染症である。

( )ハンセン病は、現在の日本では発症することはほとんどない。

( )ハンセン病は遺伝しない。

( )ハンセン病は、早期発見と適切な治療で確実に治る。

( )昔、ハンセン病患者は、隔離のために療養所に強制的に入所させられた。

( )ハンセン病は、一般の病院で治療できる。

( )熊本県には、ハンセン病療養所がある。

答えは、全て○です。



熊本県人権同和政策課編 「人権研修テキスト」より

菊池市地域人権教育指導員 宮川伊十

ハンセン病は、ノルウエーのハンセン医師が発見した「らい菌」という細菌による感染症です。「らい菌」は感染力がとても弱く、現在、日本での感染・発症はゼロです。優れた治療薬「プロミン」に始まる化学療法により外来治療で治ります。

しかし、私たちの住む熊本県においても「無らい県運動」が、国民一体となって進められ、多くの人が隔離されました。隔離された療養所内では、退所や外出も許されず、患者作業・看護・耕作が強いられ、結婚はできても断種や人工中絶が条件でした。また、療養所内では、家族のことを考え偽名を名乗らざるを得ませんでした。

平成8年に「らい予防法」が廃止されましたが、90年にも及ぶ誤った施策により、社会の中に強められた偏見や差別が残りました。平成15年に起きた「元患者の宿泊拒否事件」は、今なお現在進行中の重大な人権問題であることを県内外に知らせました。

正しい知識を正しく理解することで、私たちにできることが見えてくるのではないのでしょうか。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

【有田征也風景画展】  
期 間：10月3日(火)～9日(月祝)  
水彩で描いた風景画約10点を展示します。



【古布に遊ぶ】時々堂生徒作品展  
期 間：10月11日(水)～15日(日)  
洋服や小物約300点を展示・販売します。



【岡本厚絵画作品展】  
期 間：10月17日(火)～22日(日)  
抽象画や具象画約20点を展示します。



南草書道会30周年記念展「いぐさで書展」  
～地域伝統産業「いぐさ」を書に活かす～  
期 間：10月24日(火)～29日(日)  
いぐさと書の新しい世界に取り組みました。「書と花の話」のミニ講演も開催します。



開館時間 午前9時～午後6時  
※期間中の閉館日はありません。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】  
【岡本厚絵画作品展】  
期 間：10月17日(火)～22日(日)  
83歳になる筆者の絵には、抽象画も写実的な絵もあります。多くの方に楽しんでもらえたらうれしいです。

【続・九州の一本桜】展 梅野秀和  
期 間：10月24日(火)～11月5日(日)  
何十、何百の桜が咲き競う光景は見事ですが、一本だけでも、有名でなくても、心に残る桜があります。

【まちかど資料館企画展】  
【黒肥地コレクション展】  
期 間：～11月26日(日)  
長年菊池の文教に尽くした淡江家や幕末の思想家横井小楠の書、細川藩家老の沢村大学ゆかりの掛け軸、刀剣など数十点を展示します。

開館時間 午前9時～午後5時  
※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)



稲刈り体験

菊池で中学生が農村体験  
県立宇土中学校の生徒は、例年1年生の秋に菊池で2泊3日の農村生活体験を行っています。平成21年度から始まり、毎年約80人の生徒が訪れ宿泊体験をしています。生徒たちは、農業体験(稲刈り)や野外生活体験(テント泊と野外炊事)、水源地域の方々との交流を通して、農業という生業の理解や集団生活による社会性・協調性を培っています。

今年の秋も、大きな希望を胸に、新1年生が菊池にやってきました。「今年は何んな出会いがあるのか」と地域の方も生徒たちとの交流を楽しみにしています。生徒たちと一緒に食べる食事や歌のプレゼントなど、感動と喜びを受け地域の活力につながっています。

ふるさと緑の便り  
菊池グリーンツーリズム  
問い合わせ先 さくちふるさと水源交流館  
☎0968(27)0102

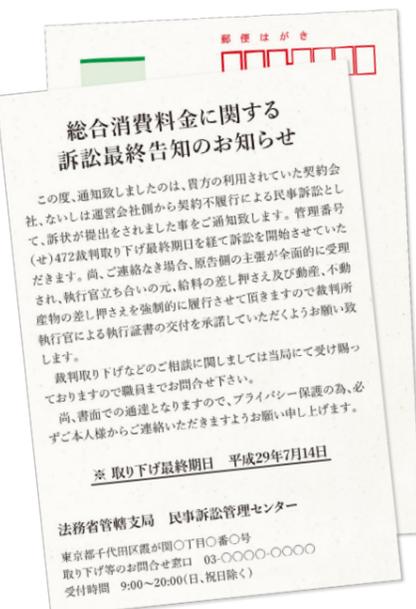
「はいーこちら菊池市消費生活センターですー」(47)

架空請求詐欺にご注意ください  
最近、市内ではがきやメールによる架空請求詐欺が発生しています。実際にあった詐欺の事例を紹介いたします。

(事例)「民事訴訟管理センター」と名乗る団体から「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」なるはがきが送られてきた。はがきには「契約不履行により民事訴訟を提起した。裁判取り下げ最終期日までに連絡なければ、給料や財産などを差し押さえる」と記載されており、問い合わせ窓口の電話番号なども記載されていた。これは、悪質業者が公的機関と見せかけて手当たり次第にはがきを

を送り付け、訴訟など不安をおおる架空請求詐欺です。絶対に連絡しないでください。連絡するとこちらの電話番号が相手に知られ、次々と金銭要求の電話が強迫まがいに掛かってくる恐れがあります。携帯電話などにも大手通販業者などをかたり、同様の架空請求メールが届く場合がありますので、ご注意ください。

不安なときはご相談ください  
架空請求のはがきやメールが届いた場合は、あわてて電話をかけたり、金銭を支払ったりしないようにしましょう。もし、連絡してしまった場合や不安なときは、消費生活センターにご相談ください。



▲悪質なはがきの事例